

第4回 越前警察署協議会

開催日時	令和7年12月19日(金) 午後 3時30分から
開催場所	越前警察署 2階講堂
出席者	越前警察署協議会委員 7名 越前警察署員署長以下 10名
協議会の概要	
<p>1 会長挨拶</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>3 会長から代表者会議報告</p> <p>4 警察署各課からの業務報告</p> <p>5 意見・質疑及び応答</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 委員：交通事故で携帯に衝撃があると自動で通報されるシステムがあるのか。</li> <li>● 警察：携帯電話や車の保険会社から貸し出されたドライブレコーダーに、交通事故等の衝撃を感知して通報されるというようなシステムがある。</li> <li>○ 委員：池田町は、寒くなってきて交通量が減っており、交通事故が減ってきたと思う。また駐在所員が、頻繁に巡回している姿を良く見かけるので安心している。</li> <li>○ 委員：最近、近所の高齢者が夜間1人になってしまい、不審車両に関しての連絡をしていくことがある。何か対処できるような方法はないか。</li> <li>● 警察：不審車両については、警察へ110番していただきたい。すぐに警察官が現場へ向かい確認する。自宅への防犯カメラの設置も有効である。</li> <li>○ 委員：本年度は、弊社と越前警察署とタイアップして、様々な取組ができた。セーフティマネージャーについても定着していると感じている。 弊社の外国人労働者が、約3千人弱いるが、今後も増加傾向にあると思っており、しっかりと責任を感じながら取組みを推進していきたい。</li> <li>○ 委員：最近、横断歩道等で車両の一時停止が多くなったと感じている。また、横断者も、一時停止の車両に対してお礼を言っており、お互いのマナーが良くなってきたように感じている。</li> <li>○ 委員：横断歩道で、ライトが付くところがあり、今後普及すると良いと思う。</li> <li>● 警察：今後、警察としても道路管理者や自治体などと要望や情報を共有していきたい。</li> <li>○ 委員：110番映像通報システムは、どのようなものか。</li> <li>● 警察：このシステムは、音声だけでは伝えることが難しい事件や事故等の現場の状況を、スマートフォンまたはタブレット端末のカメラ機能等を用いて、映像や画像を警察に送信できるシステムである。警察本部の通信指令から、映像通報を依頼する場合がある。</li> <li>○ 委員：高齢者の免許返納される方は増えているのか。</li> <li>● 警察：高齢者の免許返納は、例年並みの状況である。警察としても、より自主返</li> </ul>	

納しやすい環境作りの取組みが大事であると考えている。通常であれば越前警察署や丹南免許センターで受付しているが、各自治体の窓口等でも出張窓口を設置して対応している。

- 委員：免許返納については、家族からの依頼があっても出来ないものか。
- 警察：あくまでも免許の自主返納であることから、本人の意思が確認できないと免許の返納は出来ない。
- 委員：飲酒して自転車を運転して警察に見つかった場合、車の運転免許が停止などになるのか。
- 警察：自転車の飲酒運転は道路交通法違反になる。免許証の免許停止となるのは、あくまでも、その人物が交通の場において危険だと、いわゆる危険性帯有だと判断された場合である。例えば、自転車の飲酒運転で人身事故を起こしたことにより、交通モラルが低く、今後、自動車でも飲酒運転を起こす可能性が高いと判断された場合などが考えられる。
- 委員：最近、高齢者に、高額な値段で契約させるような事案はあるか。
- 警察：特定商取引法といわれる事案については、最近、把握していない。

#### 6 署長総括

警察も防犯カメラ映像を有効活用した取組みを進めて参りたい。行政にも防犯カメラの設置を働き掛けていきたい。

交通死亡事故の抑止は、非常に重要な課題であり、幹線道路、特に冠山峠道路などを、日中を中心にパトロールを行っており、今後も引き続き取り組んでいきたい。

警察にとっても、官民連携はより一層大事になっていく時代になると思っている。今後とも引き続きよろしくお願ひしたい。

横断歩道における歩行者妨害違反について、民間調査によると、まだまだ県内の停止率が低いという結果であり、交通取締りを含めて啓発活動を続けていきたい。

#### 7 会議の状況

